

丹後 京都府

「鳴き砂」で有名な琴引浜の全景。足を踏み入れると「キュッ、キュッ」と奏でるその音色は、花崗岩を構成する石英の丸い砂粒が堆積し続ければ、しかも油など海洋汚染の災禍からも無縁などなど、いくつもの条件が重ならなければ生まれない。まさに「神の成せる業」そのものだ。



鳴き砂の実演と環境を伝える地元ガイドさん



伊根の舟屋。海と接して生きる漁師さんの生活そのものに触れた



山陰海岸の魅力は豊かな海藻（ワカメ）



日本海形成の主役を演じる大陸時代の
安山岩の姿

文・撮影／高野 弘・水中・水辺
のフォトジャーナリスト。高知県出身、大阪府豊中市在住。国内外の水中・水辺をテーマに撮影。国内外の新聞・雑誌・広告などに掲載・採用される他、マレーシア、香港、中国など在日の各國政府観光局からの撮影依頼も多数。執筆や公演も手掛け、加えて自らが作詞・作曲した歌に乗せて「自然の尊さ」をトコトンサートで弾き語る。高野弘(オフィス)



誕生にも影響を与えた。
豊かな海の幸を育てる山陰海岸。環境が守られその価値を永々共有できる。また琴引浜の「鳴き砂」も極めて貴重な自然の産物だ。砂は決して湾外に流出しないという。湾と山の地形による絶妙のバランスの成せる業で、砂の純度を保ちながら、「音」で環境保護の大切さを自ら発し続けている。

協力：山陰海岸ジオパーク推進協議会

日本海ジオパークを水中探訪

日本海に目を向けるきっかけとなつたのは都府伊根町「舟屋」の前の海に潜った時から。半水面で見た家々の姿、そして、海と暮らす漁師さん。舟屋の前を潜るとサザエやアワビに軒下の海面下1mほどで出合つた。育つた太平洋側の高知で触れた海とはずいぶん違っていた。

昨年、山陰海岸ジオパークを訪ね

取材する機会を得た。日本海は撮影

拠点を置く大阪からも近い。「ジオ」

とは、地球や大地を意味する接頭語

という。エリア内の海岸では日本海

が誕生したドラマを地質から知ることができる。日本海形成的地殻大変

動を起こしたマグマと、その後固

まつた花崗岩はまさに古の語り部。

多彩な海岸地形は、山々の滝や渓谷

誕生にも影響を与えた。

豊かな海の幸を育てる山陰海岸。

環境が守られその価値を永々共有

できる。また琴引浜の「鳴き砂」も

極めて貴重な自然の産物だ。砂は決

して湾外に流出しないという。湾と

山の地形による絶妙のバランスの成

せる業で、砂の純度を保ちながら、

「音」で環境保護の大切さを自ら発

し続けている。